

(7) 飛田給駅周辺地区地区計画

平成13年10月31日決定 調布市告示第366号

名称	飛田給駅周辺地区地区計画	
位置	調布市飛田給1丁目及び2丁目各区内	
面積	約39.7ha	
地区計画の目標	<p>本地区は、東京スタジアムを始めとする調布基地跡地内の各種施設への主要な玄関口となっている。特に東京スタジアムの開場に伴って、来訪者が劇的に増加し、生活環境等の変化が生じている。また、都市計画道路3・3・34号線及び駅前広場を除くと、都市基盤施設が未整備であり、無秩序な市街化の進展が懸念されている。</p> <p>このため、道路等の都市基盤施設の整備を図りつつ、商業・業務機能を適正に配置するとともに、ゆとりと落ち着きのある都市型住宅を誘導するなど、住民にも、また、来訪者にとっても、魅力的で快適な市街地の形成を目指す。さらに、基地跡地には数多くの福祉施設が立地するとともに、広域避難場所であることなどから、安全でバリアフリーなまちづくりを推進する。</p>	
区域の整備・開発及び保全に関する方針	<p>1 駅から南北に通る都市計画道路沿道の地域については、南北において機能を担当し、土地の有効・高度利用を図ることにより、地区の特性に応じた連続性・統一感のある商業業務地の形成を目指す。</p> <p>特に、駅北側については、地区住民はもとより来訪者にとっても魅力的な商業業務機能の集積を図り、駅南側については、既存商店街の活性化により、日常生活品を扱う生活密着型の商業業務地の形成を図ることにより、住民と来訪者双方の需要に応えられるような商業・業務施設の誘導を図る。</p> <p>2 甲州街道の沿道については、自動車交通に対する沿道の利便性と、住宅地の住環境を騒音などから守るための緩衝機能とを併せ持つ、流通業務施設や都市型住宅を中心とした複合市街地の立地誘導を図る。</p> <p>3 その他の地域については、現在の良好な住環境を保全しつつ、建物用途の混在や密集を改善するため、憩い・集いの場となるスペースを確保した都市型住宅と、閑静で緑豊かな低層住宅地とを適正に誘導し、住民生活を重視した安全でゆとりある住宅地の形成を目指す。</p>	
地区施設の整備の方針	<p>道路については、歩行者や自動車や自動車が安全で快適に通行できるようにするため、地区内への不要な通過交通を排除し違法駐車を抑制するよう、適切な配置と空間を確保した道路整備を図る。</p> <p>また、公園については、地区住民の憩いの場や子供達が安心して利用できる遊び場を確保するため、公園やポケットパークを適切に配置し、併せて防災性の向上を目指す。</p>	
建築物等の整備の方針	<p>商業・業務・住宅の調和を図るため、地区の環境を損なわないように用途を誘導する。</p> <p>美しく連続性のある街並みとなるよう、建築物の形態や意匠を適切に誘導すると共に、緑化を推進する。</p> <p>ゆとりある空間を確保するため、壁面の位置や建築物の高さについて、土地利用の方針に応じた適切な制限・誘導を行う。</p>	